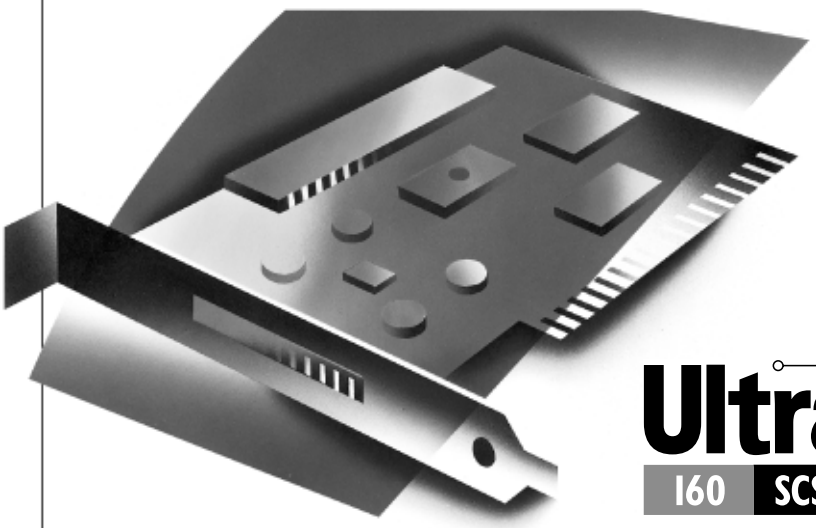
ASC-19160_IG.BOOK 1 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

adaptec®

インストール ガイド



Adaptec SCSI Card 19160

Ultra160 SCSI Controller

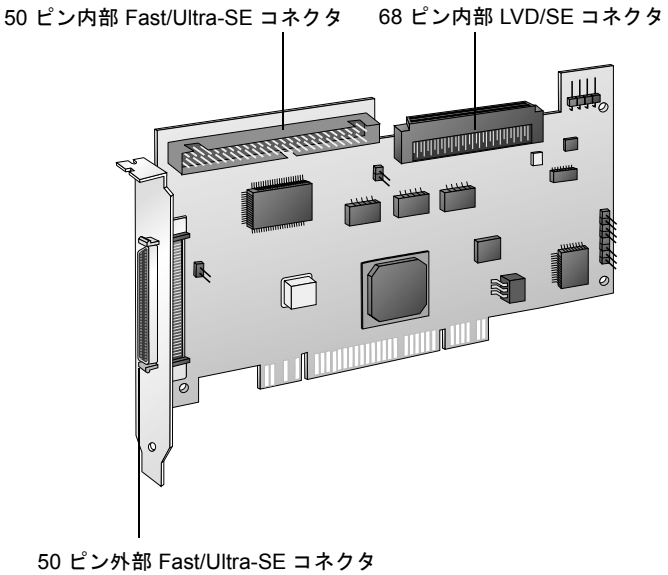
ASC-19160_IG.BOOK 2 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

ASC-19160_IG.BOOK 1 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

はじめに

Adaptec SCSI Card 19160 Ultra160 SCSI コントローラは、32 ビットの PCI 拡張スロットを備えたインテル プロセッサ搭載のコンピュータに対応し、SCSI 機器 (ハードディスクドライブ、スキャナ、CD-ROM ドライブなど) を最大 15 台まで接続できます。

Ultra160、Ultra2 など、従来とは異なる新しいタイプの LVD SCSI 機器は、68 ピン内部 LVD/SE (Low Voltage Differential/Single-Ended) コネクタに接続できます。また、SE (Single-Ended) の Fast/Ultra SCSI 機器も、50 ピンの内部および外部 Fast/Ultra-SE コネクタに接続できます。



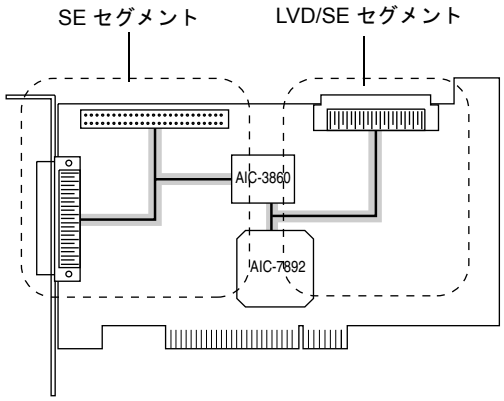
このインストール ガイドでは、以下の内容について説明します。

- Adaptec SCSI Card 19160 のインストール
- SCSI 機器のセットアップ
- SCSI 機器の接続

ASC-19160_IG.BOOK 2 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

Adaptec SCSI Card 19160 のバス セグメント

Adaptec SCSI Card 19160 は、Adaptec SpeedFlex™ テクノロジを採用しています。SpeedFlex テクノロジは、同一 SCSI バス上で SE セグメントを LVD/SE セグメントから電気的に 分離することによって、LVD SCSI 機器のパフォーマンスを最大限に発揮させます。SpeedFlex テクノロジを採用することで、SE セグメントで SE Fast/Ultra SCSI 機器 (最大データ転送速度 20 MB/sec) を使用しながら、LVD/SE セグメントで LVD SCSI 機器 (最大データ転送速度 160 MB/sec) を使用できます。以下に、この 2 つの SCSI セグメントを図示します。



メモ **Wide Ultra/Ultra SCSI 機器を LVD/SE セグメントのコネクタに接続すると、そのセグメント上の *すべて* の LVD SCSI 機器のパフォーマンスが、Ultra SCSI 機器と同レベルまで低下してしまいます。ただし、LVD/SE セグメントのコネクタに LVD SCSI 機器 *だけ* を接続すれば、データは最大速度で転送されます (Ultra2 機器の場合は 80 MB/sec、Ultra160 機器の場合は 160MB/sec)。**

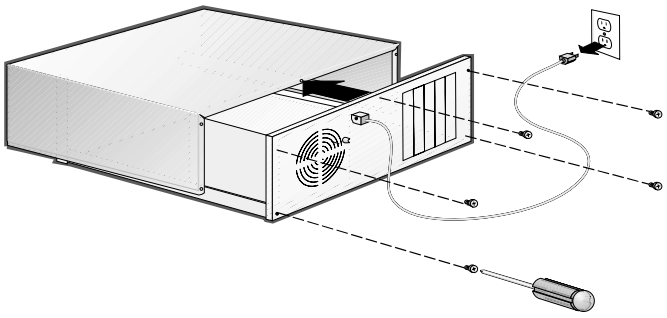
ASC-19160_IG.BOOK 3 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

Adaptec SCSI Card 19160 のインストール

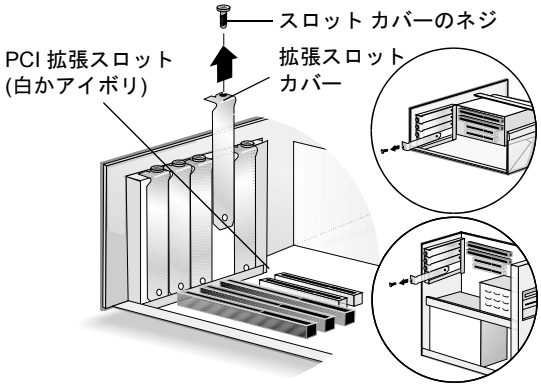
ステップ1 SCSI カードをインストールする前に、アースされた金属物 (コンピュータ背面の金属の露出部分など) に触れて、体内の静電気を放電させます。

警告 **インストールを始める前に、コンピュータの電源を切り、電源コードを外してください。**

ステップ2 コンピュータの電源を切り、電源コードを抜いてから、コンピュータ本体のカバーを取り外します。

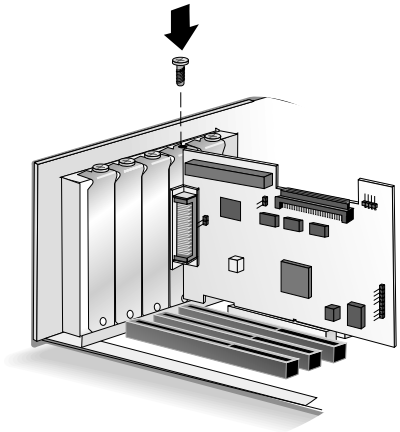


ステップ3 未使用の 32 ビット PCI 拡張スロットがあることを確認し、拡張スロット カバーを取り外します (ただし、PCI Rev. 2.1 以降に準拠し、バス マスタリングをサポートしている必要があります)。スロット カバーのネジはステップ 4 で使用しますので、保管しておいてください。



コンピュータの拡張スロットは垂直の場合と水平の場合があります。PCI スロットの位置を確認するには、お使いのコンピュータのマニュアルを参照してください。タワー 型のコンピュータの場合は、本体を横に倒しておくと Adaptec SCSI Card 19160 を装着しやすくなります。

ステップ4 Adaptec SCSI Card 19160 を PCI 拡張スロットに挿入します。カードがカチッと音を立ててスロットに収まるまでしっかりと押し込んでから、スロット カバーのネジを元の穴に取り付けます。正しく装着されると、カードは下図のように、拡張スロットと同じ高さになります。



ASC-19160_IG.BOOK 5 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

SCSI 機器のセットアップ

SCSI 機器を Adaptec SCSI Card 19160 に接続する前に、以下の操作が必要な場合があります。

- SCSI ID の確認
- 終端のターミネート
- 機器のマウント

セットアップ手順は機器ごとに異なるため、必ずお使いの機器のマニュアルに記載された手順にしたがってセットアップしてください。

以下の項では、SCSI ID の確認方法、ターミネーションの設定方法、コンピュータへの機器のマウント方法について説明します。詳細は、『*Adaptec SCSI Card 19160 ユーザーズ・ガイド*』を参照してください。

SCSI ID の確認

Adaptec SCSI Card 19160 およびこのカードに接続される各機器には、0 から 15 の固有の SCSI ID 番号が割り当てられていなければなりません。複数の機器に同じ番号を割り当てることはできません。

Adaptec SCSI Card 19160 の SCSI IDは 7 に設定されています。通常のご使用では変更しないでください。SCSI ハードディスクからコンピュータを起動する場合は、必ずハードディスクの SCSI ID を 0 に設定してください (ほとんどの SCSI ハードディスクは工場出荷時に SCSI ID 0 に設定されています)。

一般に、内蔵機器の SCSI ID はジャンパで設定します。また、外部機器の場合は、装置の背面にあるスイッチで設定します。

SCSI バスの終端のターミネート

SCSI バス上で安定したデータ転送を行うには、各ケーブルの終端に接続された機器、またはケーブル自体の終端に、ターミネータを付ける (有効にする) *必要があります*。各ケーブルの途中に接続されている機器からは、ターミネータを外す (ターミネーションを無効にする) 必要があります。

ASC-19160_IG.BOOK 6 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

LVD (Ultra160 およびUltra2) SCSI 機器のターミネート

LVD SCSI 機器は、工場出荷時の状態ではターミネートされていません。内部 LVD SCSI 機器を接続する場合は、専用の 68 ピン内部 LVD ケーブルが必要です。通常、内部 LVD ケーブルの終端には LVD または自動切換えのターミネータが組み込まれています。このタイプのケーブルを使用すれば、個々の内部 LVD SCSI 機器をターミネートする必要はなくなります。ケーブルにターミネータが組み込まれていない場合は、終端にターミネータを取り付けてください。

メモ **Adaptec SCSI Card 19160 は、外部 LVD 機器をサポートしていません。**

Fast/Ultra SCSI 機器のターミネート

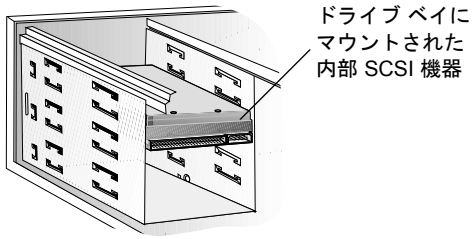
ほとんどの内部 Fast/Ultra SCSI 機器では、ジャンパやスイッチの設定、または抵抗モジュールの取り付け/取り外しによって、ターミネーションを有効または無効にします。ターミネータが組み込まれた内部 SCSI ケーブルを使用する場合は、ケーブルに接続されたすべての内部機器のターミネーションを無効にする必要があります。

ほとんどの外部 Fast/Ultra SCSI 機器では、ターミネータプラグの取り付け/取り外しによって、ターミネーションを有効または無効にします。詳細は、各 SCSI 機器のマニュアルを参照してください。

ASC-19160_IG.BOOK 7 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

機器のマウント

内部 SCSI 機器を使用する場合、下図のように、コンピュータ ケース内の空いているドライブ ベイに各機器をマウントします。コンピュータへの機器のインストール方法については、コンピュータおよび各機器のマニュアルを参照してください。



SCSI 機器の接続

Adaptec SCSI Card 19160 には SCSI 機器を 15 台まで接続できます。これらの機器を接続する前に、必ず 5 ページの「*SCSI 機器のセットアップ*」の項を読んでください。機器の接続についての詳細は、『*Adaptec SCSI Card 19160 ユーザーズ・ガイド*』を参照してください。

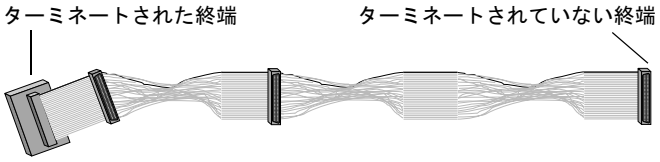
内部 LVD (Ultra160 および Ultra2) SCSI 機器の接続

内部 LVD SCSI 機器を、Adaptec SCSI Card 19160 の内部 LVD/SE コネクタに接続します。そのためには、以下のステップ 1 に図示するような 68 ピン内部 LVD ケーブルを使用します。

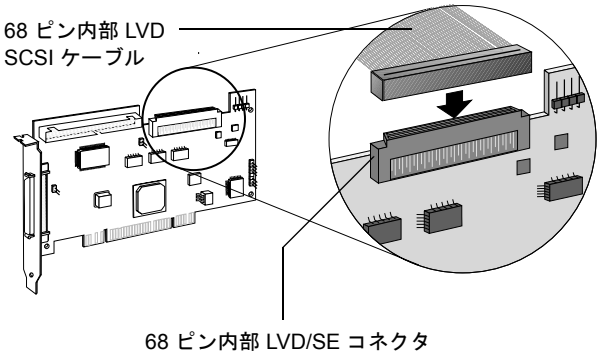
以下のステップにしたがって、これらの機器を接続してください。

メモ **LVD SCSI 機器と SE (Ultra SCSI) 機器は、別のセグメントに接続することをお勧めします。そうすると、LVD SCSI 機器では、最大速度でのデータ転送が可能になります。(2 ページの「*Adaptec SCSI Card 19160 のバス セグメント*」を参照してください。)**

ステップ1 68 ピン内部 LVD SCSI ケーブルを用意します。LVD 機器には、下図に示すような、ツイスト ペアのフラット リボン ケーブルを接続します。

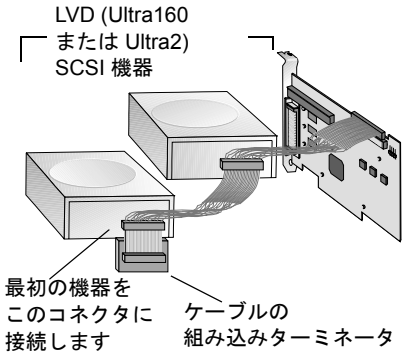


ステップ2 ケーブルのターミネートされていない方の端を内部 LVD/SE コネクタに接続します。



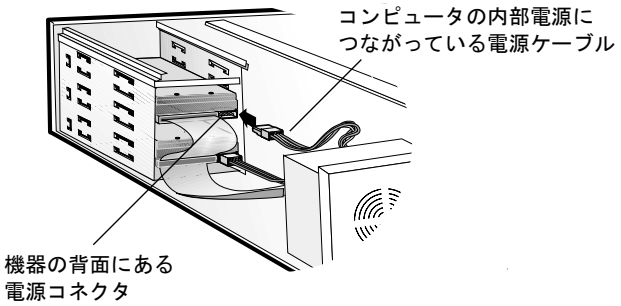
ASC-19160_IG.BOOK 9 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

ステップ3 残りのケーブル コネクタに内部 LVD SCSI 機器を接続します。その際、ケーブルのターミネータが付いている方の端から接続していきます。



メモ **内部 LVD SCSI 機器は、工場出荷時の状態ではターミネートされていませんが、LVD SCSI ケーブルの端に付いているターミネータを使用することで、SCSI バスを正しくターミネートすることができます。詳細は、5 ページの「*SCSI バスの終端のターミネート*」を参照してください。**

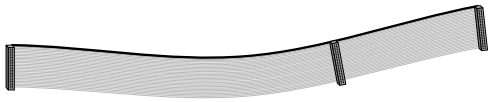
ステップ4 コンピュータの内部電源につながっている電源ケーブルを各内部 SCSI 機器に接続します。



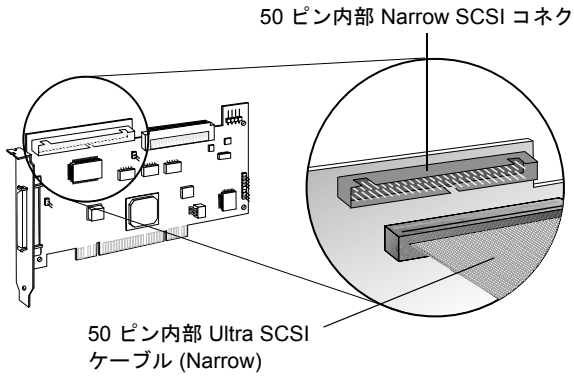
内部 Fast/Ultra SCSI 機器の接続

標準の 50 ピン コネクタを備えた内部 Fast/Ultra SCSI 機器を、50 ピン内部 Fast/Ultra SE SCSI コネクタに接続します。そのためには、50 ピン内部 SCSI ケーブルを使用します。以下のステップにしたがって、これらの機器を接続してください。

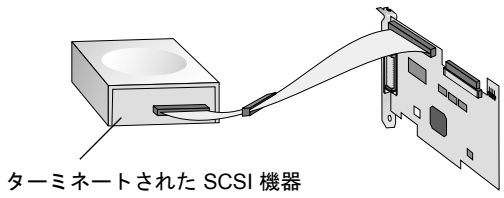
ステップ1 50 ピン内部 Ultra SCSI ケーブルを用意します。



ステップ2 ケーブルの片方の端を Adaptec SCSI Card 19160 の 50 ピン内部 Fast/Ultra-SE SCSI コネクタに接続します。

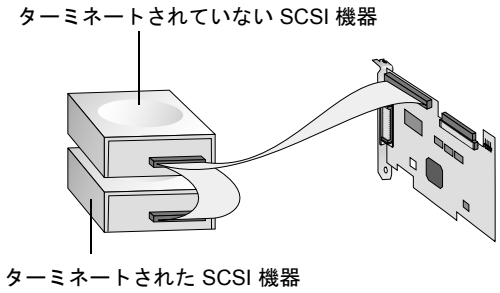


ステップ3 ケーブルのもう一方の端を、ターミネートされた Fast/Ultra SCSI 機器に接続します。

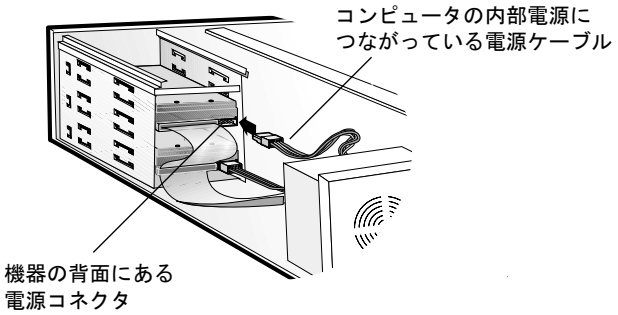


ASC-19160_IG.BOOK 11 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

ステップ4 接続する Fast/Ultra SCSI 機器がほかにもある場合は、ケーブルの途中にあるコネクタに接続します。ケーブルの途中に接続した機器は*ターミネートしないでください*。



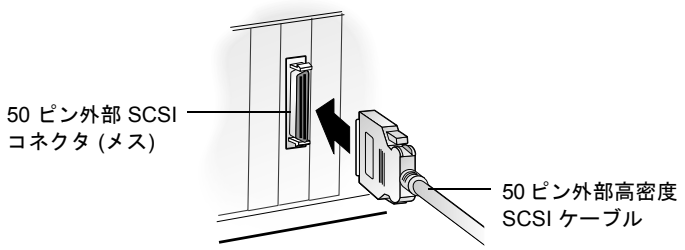
ステップ5 コンピュータの内部電源につながっている電源ケーブルを各内部 SCSI 機器に接続します。



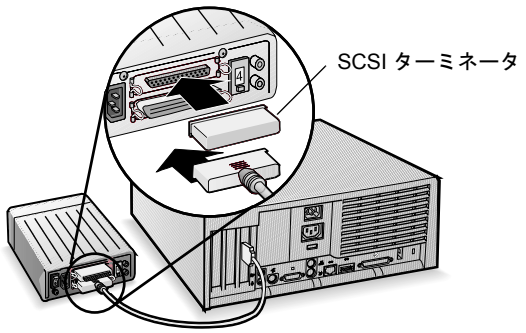
外部 Fast/Ultra SCSI 機器の接続

50 ピン コネクタを備えた外部 Fast/Ultra SCSI 機器を、50 ピン外部高密度 Fast/Ultra-SE コネクタに接続します。各外部機器用に 50 ピン外部高密度 SCSI ケーブルが必要になります。以下のステップにしたがって、これらの外部機器を接続してください。

ステップ1 外部 SCSI ケーブルの片方の端を Adaptec SCSI Card 19160 の 50 ピン外部 Fast/Ultra-SE SCSI コネクタに接続します。



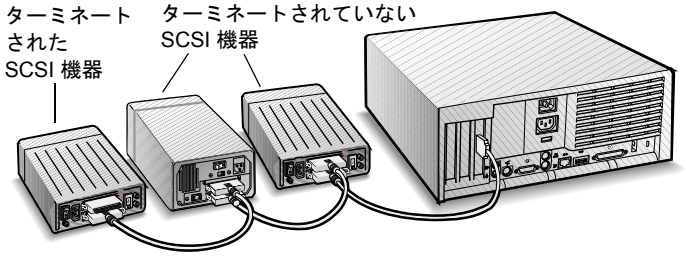
ステップ2 外部 SCSI ケーブルのもう一方の端を、外部 SCSI 機器の背面にある SCSI コネクタに接続します。



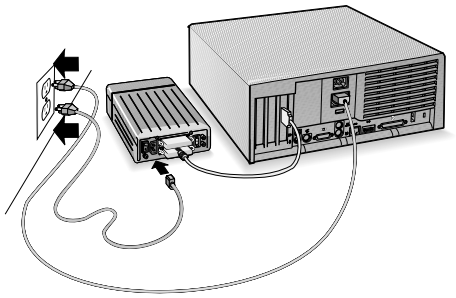
接続する外部機器が 1 台だけの場合は、その機器をターミネートして、ステップ 4 に進みます。

ASC-19160_IG.BOOK 13 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

ステップ3 ほかの外部機器を接続します。下図のように、各機器を 1 つずつ直列に接続していきます。チェーンの終端に接続された外部機器だけをターミネートしてください。



ステップ4 すべての外部機器とコンピュータに電源ケーブルを接続します。



ASC-19160_IG.BOOK 14 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

アダプテック SCSI カード用ドライバ のインストール

Adaptec SCSI Card 19160 を使用するには、お使いのオペレーティング システム (Windows® 98、Windows NT® など) に対応したカード用のドライバ をインストールする必要があります。添付のドライバ セットには、一般的に使用されているオペレーティング システムに対応したドライバが収録されています。

オペレーティング システムをインストールするときにドライバをインストールする方法、またはオペレーティング システムがインストールされているコンピュータにドライバをインストールする方法については、『*Ultra160 ファミリ マネージャ セット ユーザーズ・ガイド*』および『*Adaptec SCSI Card 19160 ユーザーズ・ガイド*』を参照してください。

ASC-19160_IG.BOOK 15 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

トラブルシューティング

Adaptec SCSI Card 19160 のインストール時に何らかの問題が起こった場合には、まず、以下の項目を確認してください。

- すべての SCSI 機器の電源が入っていますか？
- すべての SCSI ケーブルと電源ケーブルが正しく接続されていますか？
- SCSI バスに接続されている各 SCSI 機器には固有の SCSI ID が設定されていますか？
- SCSI ケーブルの合計長が最大ケーブル長を超えていませんか？(詳細は、『*Adaptec SCSI Card 19160 ユーザーズ・ガイド*』を参照してください。)
- SCSI バスは正しくターミネートされていますか？

これでも問題を解決できない場合は、『*Adaptec SCSI Card 19160 ユーザーズ・ガイド*』または当社の Web サイトで、トラブルシューティングに関する詳細情報を参照してください。Adaptec インターネット ホームページ *http://www.adaptec.co.jp*

ASC-19160_IG.BOOK 16 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

著作権

© 1999-2001 Adaptec,Inc. All rights reserved. この文書は、たとえその一部であっても事前に Adaptec,Inc., 691 South Milpitas Blvd., Milpitas CA 95035 から書面による許可を得た場合を除き、電子的、機械的、複写機、録音あるいはその他いかなる手段、いかなる形式によっても転送、複製、検索システムに登録してはなりません。

商標

Adaptec、Adaptec のロゴ及び SpeedFlex は Adaptec, Inc. の登録商標で何らかの司法権に登録されている場合があります。

Windows、Windows 98、および Windows NT は Microsoft Corporation の登録商標です。

その他の商標は各権利所有者の所有によるものです。

変更

本文書の資料は単なる情報として提供されるものであり、予告なく変更される可能性があります。本書の制作に際し正確さを期するために万全の注意を払ってはおりますが、本書中の誤記や情報の抜け、あるいは情報の使用に起因する結果に関して Adaptec 社はいかなる責任も負いません。

Adaptec 社は、ユーザに対する事前の約束及び告知無しに製品のデザインを変更する権利を留保します。

禁止事項

本書のどの部分も、著作権者からの事前の書面による許可なくして、電子的、機械的を問わず、複写や記録などいかなる方法やいかなる形による転送や複製、検索システムへの登録を行う事は法律で禁止されています。

法規適合ステートメント

FCC（米国連邦通信委員会）無線周波数妨害法準拠

警告：本装置に対し、準拠の責任がある当事者が、特別に認可ないし加工または変更が加えられた場合、本装置を使用するユーザの権限は無効になる可能性があります。

本装置は、検査の結果、FCC 規則パート 15 に従うクラス B デジタル装置の制限に準拠しています。これらの制限は、住宅地域において操作する際、妨害からの保護を目的としたものです。本装置は、無線周波数を発生、使用また放射する場合があります。取扱説明書に従って設置または使用されない場合、無線通信に有害な妨害を引き起こす可能性があります。また、設置状況に関わらず障害を引き起こす可能性もあります。本装置が、テレビやラジオ等の受信障害の原因となっているかどうかは、装置の電源の ON/OFF を切り替えることでご確認頂けます。本装置が受信障害の原因であると考えられる場合は以下の手順のいずれか、または幾つか組み合わせてお試しください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えるか、または場所を変える。
- テレビまたはラジオと本装置の間の距離を離す。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続する。
- 販売店またはテレビ、ラジオの修理業者にご相談ください。
- 法規上の制限に準拠した使用を行うには品質の良い I/O ケーブルか電源ケーブルをご使用ください。

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しており、その使用は、次の 2 つの条件に従います：(1) 本装置は、妨害を引き起こさないと想定される。(2) 本装置は、不適切な操作に起因する障害を含むいかなる障害も承認しなければならない。

Adaptec, Inc. Adaptec SCSI Card 19160

Tested to Comply
With FCC Standards

FOR HOME OR OFFICE USE

EU 法準拠

本製品はテストの結果以下のヨーロッパの基準に準拠しています。

EMC Directive 89/336/EEC

EN 50081-1 (1992):
EN55022 (1994) Class B

EN 50082-1 (1992):
EN61000-4-2 (1998)
EN61000-4-3 (1998)
EN61000-4-4 (1995)

オーストラリア、ニュージーランド法準拠

本装置は Spectram Management Agency が策定したオーストラリア / ニュージーランド標準 AS/NZS 3548 に従ったテストの結果クラス B デジタル装置の制限に準拠しています。

カナダ法準拠

本製品はクラス B デジタル装置です。本製品は、カナダ電波妨害装置規則の要件をすべて満たしています。

日本法準拠

情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に準拠しています。。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としてますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

ASC-19160_IG.BOOK 20 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

ASC-19160_IG.BOOK 1 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

ASC-19160_IG.BOOK 2 ページ ２００１年１２月６日 木曜日 午前１０時５９分

adaptec®

We move the information that *moves* your world.™

© 1999 Adaptec, Inc. All rights reserved.
Printed in Singapore
Stock No.: 512507-03JA, Rev. B
(SRC: 512507-00JA, Ver. AB)